

# 安全最優先が最大の財産

130人が管理方策など研鑽



一を最優先し経営を進めてきた。これはわが社の財産だと自負している。現場から経営まで一環した安全の

ルールであるコスモスを確実に実践することで労働災害の防止に役立てることが出来る。我々は社会資本の整備に携わることで、地域

全管理の意識向上などにつなげてほしい」と呼びかけた。

このあと、藤丘システム企画課長が「コスモスと安全衛生管理」をテーマに講演した。藤丘課長はコスモスやマネジメントシステムの概要

の安全・安心を守り、経済の発展に貢献している。そういった意義のある業務に携わる作業員が労働災害にあつては絶対ない。きょうの講演を聴いて、安全などをスライドを使って説明。その上で、「経営理念の中に安全衛生管理が取り込まれる」「個人の能力に頼らずに組織的な取組が可能となるなど、コスモス導入のメリットを強調した。

さらに、「コスモスの特質を理解する」「自社の実情に合ったシステムとして、経営管理の一部として取り扱う」など、システム導入を成功させるための方策についても話した。出席者は説明に熱心に耳を傾け、コスモスに関する知識、安全衛生管理の方策について研鑽を深めていた。

## 6/8 北海道通信社

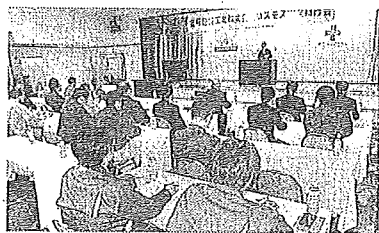
【帯広発】宮坂建設工業(株)（帯広、宮坂寿文社長）は6日、帯広市内のとかち館でコスモス安全研修会を開催した。建設業労働防止協会技術管理部建設業労働安全マネジメントシステムトータルサービスセンターの藤丘青生システム企画課長が、建設業に特化した労働安全衛生マネジメントシステムであるCOHSM（コスモス）について説明。出席した同社社員や建設業関係者百三十人が安全衛生管理に対する研鑽を深めた。写真。

はじめに有川進副社長があいさつし、同社が十八年度に導入に向けた取組を始め、二十二年度に建設業労働防止協会の認定を受けたコスモスについて説明。その上で、「これまで安全第

## 6/8 北海道建設新聞社

### COHSMの 仕組みなど学ぶ 宮坂建設工業 安全研修会

【帯広】宮坂建設工業(本社・帯広、宮坂寿文社長)は6日、市内のとかち館で安全研修会を開いた。同社役員と協力会社の安全担当者ら135人が参加。建設業労働安全衛生マネジメントシステムであるCOHSM



た写真。

建設防本部の藤丘青生システム企画課長は、従来の手法は管理する個人の能力・知識を主体とし

Sの仕組みなどを学んだ。有川進副社長は、2010年のCOHSM導入で「効果的な安全衛生活動を展開できるようになり、安全の水準が上がってきた」と強調。システムに対する協会の理解度向上が水準のさらなる向上につながる

た後追い型だったが、COHSMは先取り型で組織的に安全を管理できる点などメリットを説明した。

コスモス安全研修会

全員参加で

システム運用

宮坂建設工業

宮坂建設工業（本社・

帯広）札幌支店は7日、

札幌サンプラザでコスモ

ス安全研修会を開いた。

協力会社などから約13

0人が参加し、講演を通

して安全管理について理



解を深めたII写真。

講演に先立ちあいさつ

した有川進副社長は「業

務多忙な時期の研修会と  
なったが、この時期だか  
らこそ安全意識を高める  
必要がある。コスモスの  
システムを全員参加で運  
用し、現場の安全や労災  
防止に生かしていこう」  
と呼び掛けた。

この後、建設業労働災  
害防止協会の藤丘育生シ  
ステム企画課長が、労災  
の現状や原因、事業者の  
責務、コスモスの効果的  
な事例などを説明。「労  
災は人ごとではない。真  
剣に対策に取り組むこと  
が、会社を守ることにつ  
ながる」と説いた。